

## シンポジウム 3

### 障がいを強みに、夢を叶えたアーティストたち ～出来ないを出来るに変える支援者の視点と社会づくり～

社会福祉法人 JOY 明日への息吹 障害福祉サービス事業所 JOY 倶楽部 主任生活支援員

古米 有香 氏

#### 【ご略歴】

麻生医療福祉専門学校 心理学科で3年間、障がい福祉やメンタルケア、相談援助技術などを学ぶ。在学中にアルバイト先でアトリエブラヴォのアートと出会い、興味を持ってアトリエへ伺った際にメンバーの人柄に魅了され、入社を志望。念願叶って JOY 倶楽部で勤務し8年目。

入社から1年半は JOY 倶楽部音楽部門 ミュージックアンサンブル配属。年間50公演ほどのコンサート活動のステージサポートを行う。

現在は JOY 倶楽部の主任として従事しながらアトリエブラヴォの現場に入り、生活支援員業務をはじめ、アトリエブラヴォの企画立案や商品開発、渉外業務、イベントでのMCや広報などを行っている。

現場では、特に自閉症の方の意思表示や独特な認知のありかたに興味を持ち、日々楽しく支援に携わる。福祉現場での直接支援とアート活動での社会との関わりのどちらにも一貫して、コミュニケーションを最も大切に、日本一おもしろい福祉事業所づくりを目指している。

資格) 精神保健福祉士

#### 【報告内容】

知的障がい者の文化的活動による社会参加を支援することを目的として、2002年4月に発足した福祉事業所、JOY 倶楽部。就労継続支援b型事業と生活介護事業を行っており、障がいのある方が文化的活動を通して人との出会いを重ねながら、共生社会の実現を目指し日々活動しています。

今回は、JOY 倶楽部の理念+アート制作を仕事にする「アトリエブラヴォ」の仕事例と、支援の実践について報告いたします。

#### 【アトリエブラヴォとは?】

おもしろいアートを媒体に、社会とのつながりをうみだすアーティスト集団。所属する10名のメンバーの仕事は、「描く」「創る」こと。自由に描くだけでなく、注文に合わせた制作も行います。絵画、陶芸、オブジェ制作やワークショップ開催、企業とのコラボ商品の開発、イラストの提供、ライブペインティング、オリジナルグッズの制作、ビル外壁や店舗内の壁画制作など、福岡市を中心に活動しています。

社会の中に溶け込むアートは、私たちの大きな希望であり喜びです!